

コロナ禍での脱炭素型デザイン

—建築、都市、農村地域での居住空間のあり方を問う—



主催 低炭素社会推進会議
日時 2021年1月22日(金) 13:00-17:00
会場 オンライン Zoom ウェビナー 参加用 ID・パスコードは 後日 メールにて通知
定員 500名(申込み先着順)
参加費 無料(資料の配布は無し。後日WEB上で公開予定)
司会 岩本静男, 中村美和子
記録 宮崎慎也

昨今、異常気象による大規模災害が頻発し、多くの自治体では「気候非常事態宣言」が発せられ、脱炭素はますます喫緊の課題となっている。また、新政権は2050年にカーボンニュートラルの実現を目指すことを宣言した。そのような中で新型コロナウイルス感染症が突如発生し、またたく間に世界中に蔓延した。その結果、移動の自粛や制限、在宅勤務やテレワークへの移行、感染防止対策(三密の防止)の徹底など、日常生活は多大な影響を受けることとなった。

世界では新型コロナ禍での経済萎縮により年換算で8%近いCO₂の削減が予測されており、パリ協定での年排出削減目標値の7.6%とほぼ同じである。このことは、脱炭素社会構築のためには相当な経済的痛みとそれに伴う行動変革・ライフスタイル、居住空間の変革が必至であり、建築・都市・農村の居住空間のデザインや運用に関しては大幅な見直しが求められている。新型コロナウイルスの発生は、地球温暖化と関連があるともいわれており、低炭素社会推進会議としてはコロナ感染対応に関しても注視している。

今回のシンポジウムは、「コロナ禍での脱炭素型居住空間 デザイン」と題し、まず国土交通省と環境省からコロナ対応との関連での国の動きについて紹介いただき、次に専門の分野から、主に居住空間でのコロナ禍でのデザインや運用の考え方について話題提供をいただき、その後に表題に関する討論を行って今後の課題や方向性を共有する。

プログラム

1部 参加団体からの取り組みに関する報告

- (1) 開催挨拶
- (2) 活動報告
- (3) コロナ関連についての取り組み報告

- (4) 脱炭素社会推進の提言

中村 勉 (低炭素社会推進会議議長)
低炭素社会推進会議参加団体
高井 啓明 (日本建設業連合会)
青木 富三雄 (住宅生産団体連合会)
中根 英昭 (日本環境共生学会)
吉野 博 (提言タスクフォース)

お申し込み

お申し込みは下記 URL もしくは QRコードからお願い致します。

○ 申し込み締切り
2021年1月17日(日)

[URL]

<https://docs.google.com/forms/d/1ly2uh8CIDqxYiXxq1EfowleSp7A38-up1aQr8dxly70>

[QRコード]



2部 「コロナ禍での脱炭素型建築・都市・地域社会の新たなデザインを問う」

主旨説明
基調講演

新型コロナ危機を契機としたまちづくりの方向性の検討
カーボンニュートラルと脱炭素イノベーション

話題提供

- (1) コロナに強い脱炭素型居住空間デザイン
- (2) コロナ禍での 空調・換気デザイン
- (3) 都市エリアの人流マネジメント・エネルギーデザイン
- (4) コロナ禍を契機とした新たなサステナブルな空間と社会をデザインする

糸長 浩司 (日本建築学会)
坂本 光英 (国土交通省都市局)
中島 恵理 (環境省)

中村 勉 (低炭素社会推進会議)
倉淵 隆 (空気調和・衛生工学会副会長)
佐土原 聡 (横浜国立大学)
外岡 豊 (日本建築学会)

3部 討論 「コロナ禍での脱炭素型の居住空間 デザインを考える」

モデレーター
パネリスト

外岡 豊(前掲), 糸長 浩司(前掲)
上記講演者

まとめ

横尾 昇剛 (日本建築学会)

事務局:(公社)日本建築士会連合会 東京都港区芝5-26-20 建築会館5階 Tel:03-3456-2061

構成団体:(公社)空気調和・衛生工学会,(一社)建築設備技術者協会,(一財)建築環境・省エネルギー機構,(一社)建築設備総合協会,(一社)住宅生産団体連合会,(一社)電気設備学会,(一社)都市環境エネルギー協会,(一社)日本サステナブル建築協会,(一社)日本建設業連合会,(公社)日本建築家協会,(一社)日本建築学会,(一社)日本建築構造技術者協会,(公社)日本建築士会連合会,(一社)日本建築士事務所協会連合会,(一社)日本太陽エネルギー学会,(公社)日本都市計画学会,(一社)日本木材学会,日本ヒートアイランド学会,農村計画学会,日本環境共生学会,(一社)日本ビルデック協会連合会,(一社)照明学会

協賛団体:(株)総合資格